



2026年2月16日

各 位

上場会社名 中部電力株式会社
代表者 代表取締役社長 社長執行役員 林 欣吾
(コード番号 9502)
問合せ先責任者
経営管理部経理第3グループ長 藤田 竜裕
(TEL 052-951-8211)

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
(開示事項の追加及び監査法人による期中レビューの完了)

当社は、2026年2月2日に「2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」を開示いたしましたが、四半期連結財務諸表について、監査法人による期中レビューが完了しましたのでお知らせいたします。

記

「2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」からの追加内容

【添付資料】

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(四半期連結貸借対照表関係)

(四半期連結損益計算書関係)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(セグメント情報等)

期中レビュー報告書

以上



中部電力

2026年3月期 第三四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年2月16日

東・名

上場会社名 中部電力株式会社 上場取引所
 コード番号 9502 URL <https://www.chuden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 林 欣吾
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部経理第3グループ長 (氏名) 藤田 竜裕 TEL 052-951-8211
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第三四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第三四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第三四半期	2,566,360	△3.2	168,565	△8.4	240,729	8.3	202,566	21.2
	2,651,636	△1.7	184,120	△36.4	222,283	△49.1	167,145	△53.2

(注) 包括利益 2026年3月期第三四半期 272,617百万円(△32.3%) 2025年3月期第三四半期 205,991百万円(△60.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第三四半期	268.18		268.17
2025年3月期第三四半期	221.12		221.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第三四半期	百万円 7,499,486	百万円 3,078,295	% 40.1
2025年3月期	7,124,812	2,858,530	39.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第三四半期 3,008,797百万円 2025年3月期 2,786,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 60.00
2026年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円 3,550,000	% △3.2	百万円 230,000	% △16.8	百万円 185,000	% △8.5	円 銭 244.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) (株)芝リアルエステート、除外 一 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 2026年3月期3Q 758,000,000株 2025年3月期 758,000,000株
② 期末自己株式数 2026年3月期3Q 2,591,297株 2025年3月期 2,777,558株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 2026年3月期3Q 755,349,488株 2025年3月期3Q 755,905,878株
- (注)当社及び当社の子会社である中部電力ミライズ株式会社は、株式報酬制度「株式給付信託(BBT-RS)」を導入しており、期末自己株式数には、「株式給付信託(BBT-RS)」に係る信託口が保有する当社株式(2026年3月期3Q 1,044,456株、2025年3月期 1,248,100株)が含まれております。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2026年3月期3Q 1,112,529株、2025年3月期3Q 578,200株)
- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 有(任意)
監査法人によるレビュー
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
1. 業績予想に関する事項につきましては、決算補足説明資料「2025年度第3四半期 決算説明資料」のスライド番号10、11「2025年度 業績見通しの概要」をご覧ください。
 2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。
実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる場合があります。
 3. 決算補足説明資料「2025年度第3四半期 決算説明資料」はTDnetで2026年2月2日に開示しております。

【添付資料】

〔目次〕

1. 経営成績等の概況	• • • • •	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記		
(1) 四半期連結貸借対照表	• • • • •	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	• • • • •	P. 5
四半期連結損益計算書	• • • • •	P. 5
四半期連結包括利益計算書	• • • • •	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	• • • • •	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	• • • • •	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	• • • • •	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	• • • • •	P. 7
(追加情報)	• • • • •	P. 7
(四半期連結貸借対照表関係)	• • • • •	P. 8
(四半期連結損益計算書関係)	• • • • •	P. 9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	• • • • •	P. 9
(セグメント情報等)	• • • • •	P. 10
期中レビュー報告書	• • • • •	P. 11

1. 経営成績等の概況

経営成績等の状況に関する事項につきましては、決算補足説明資料「2025年度第3四半期 決算説明資料」をご覧ください。

決算補足説明資料「2025年度第3四半期 決算説明資料」はTDnetで2026年2月2日に開示しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
固定資産	5,982,066	6,210,009
電気事業固定資産	2,363,311	2,368,863
水力発電設備	283,139	297,927
原子力発電設備	85,208	82,361
送電設備	551,361	550,668
変電設備	427,678	421,246
配電設備	830,094	838,302
業務設備	162,876	156,111
その他の電気事業固定資産	22,951	22,244
その他の固定資産	401,726	408,436
固定資産仮勘定	521,028	569,101
建設仮勘定及び除却仮勘定	437,475	485,547
使用済燃料再処理関連加工仮勘定	83,553	83,553
核燃料	200,697	205,823
装荷核燃料	40,040	40,040
加工中等核燃料	160,657	165,783
投資その他の資産	2,495,301	2,657,785
長期投資	271,626	268,025
関係会社長期投資	2,037,296	2,194,494
退職給付に係る資産	2,917	3,331
繰延税金資産	148,218	155,798
その他	37,250	39,431
貸倒引当金（貸方）	△2,008	△3,296
流動資産	1,142,746	1,289,476
現金及び預金	293,547	352,425
受取手形、売掛金及び契約資産	311,955	292,171
棚卸資産	305,019	324,678
その他	233,123	321,114
貸倒引当金（貸方）	△899	△911
合計	7,124,812	7,499,486

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び純資産の部		
固定負債	3,009,231	3,197,045
社債	676,025	706,718
長期借入金	1,819,587	1,975,223
未払廃炉拠出金	224,719	224,719
原子力発電所運転終了関連損失引当金	4,276	4,276
退職給付に係る負債	108,265	104,534
その他	176,357	181,573
流動負債	1,255,038	1,222,358
1年以内に期限到来の固定負債	332,834	315,055
短期借入金	261,556	270,099
支払手形及び買掛金	229,390	230,749
未払税金	73,775	54,399
その他	357,481	352,055
特別法上の引当金	2,011	1,787
渴水準備引当金	2,011	1,787
負債合計	4,266,281	4,421,191
株主資本		
資本金	2,400,550	2,554,398
資本剰余金	430,777	430,777
利益剰余金	64,451	64,576
自己株式	1,909,619	2,063,046
その他の包括利益累計額	△4,297	△4,001
その他有価証券評価差額金	385,973	454,398
繰延ヘッジ損益	17,266	33,871
為替換算調整勘定	82,245	100,926
退職給付に係る調整累計額	286,495	317,622
新株予約権	△33	1,977
非支配株主持分	0	—
純資産合計	2,858,530	3,078,295
合計	7,124,812	7,499,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益	2,651,636	2,566,360
電気事業営業収益	2,248,470	2,200,591
その他事業営業収益	403,165	365,768
営業費用	2,467,516	2,397,795
電気事業営業費用	2,093,692	2,058,086
その他事業営業費用	373,824	339,708
営業利益	184,120	168,565
営業外収益	65,095	105,406
受取配当金	849	806
受取利息	374	800
持分法による投資利益	52,198	94,814
その他	11,672	8,984
営業外費用	26,931	33,242
支払利息	17,692	22,651
その他	9,239	10,590
四半期経常収益合計	2,716,731	2,671,767
四半期経常費用合計	2,494,448	2,431,037
経常利益	222,283	240,729
渇水準備金引当又は取崩し	795	△224
渇水準備金引当	795	—
渇水準備引当金取崩し（貸方）	—	△224
税金等調整前四半期純利益	221,488	240,953
法人税等	49,562	36,527
四半期純利益	171,926	204,426
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,780	1,859
親会社株主に帰属する四半期純利益	167,145	202,566

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	171,926	204,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,500	3,153
繰延ヘッジ損益	△366	△155
為替換算調整勘定	23	661
退職給付に係る調整額	3,305	3,309
持分法適用会社に対する持分相当額	33,602	61,223
その他の包括利益合計	34,065	68,191
四半期包括利益	205,991	272,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201,615	270,991
非支配株主に係る四半期包括利益	4,375	1,626

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法による。

(追加情報)

浜岡原子力発電所の新規性基準適合審査における基準地震動策定に係る不適切事案

当社は、現在、浜岡原子力発電所3号機・4号機について、原子力規制委員会による新規制基準適合性審査（以下「審査」）を受けております。

昨年5月から原子力規制庁による当社の基準地震動の策定に関する調査への対応を行ってきたところ、このたび、浜岡原子力発電所の地震動評価における代表波選定が、審査会合での当社による説明内容と異なる方法や意図的な方法で実施されていた疑いがあること（以下「本事案」）が確認されました。

また、2026年1月14日に開催された第51回原子力規制委員会において、本事案を受け審査を停止することが決定されました。

本事案の発生を受けて審査が停止されたことにより、審査に関係する業務などの委託契約を解約することとし、実施済みの業務に対応した費用を計上しており、これに伴う当第3四半期連結累計期間の連結経常利益への影響は11,707百万円です。

なお、本事案の今後の動向によっては、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

重要な会計上の見積り

原子力事業の固定資産の評価

原子力発電事業については、運転停止状況が長期間継続していることなどから、将来キャッシュ・フローと原子力発電事業の固定資産簿価を比較し、減損損失の認識の要否を検討する必要があります。

将来キャッシュ・フローの見積りは、経営者が作成した経営計画を基礎として行われます。見積りの基礎とした経営計画には、再稼働後の発電による販売収益、安全性向上対策工事費用の見込みなど経営者の判断を伴う主要な仮定が用いられており、将来キャッシュ・フローの見積りに重要な影響を及ぼします。

なお、本事案は、審査の停止をはじめ審査に重要な影響を及ぼし、運転停止状況が更に長期化する可能性があることに伴う再稼働後の発電による販売収益の減少や安全性向上対策工事費用の増加などのおそれがあるものの、それらを踏まえたうえでも原子力発電事業の固定資産の回収可能性はあるものと判断しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

(1) 社債及び借入金に対する保証債務

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年12月31日)
日本原燃株式会社	88,702百万円	84,817百万円
日本原子力発電株式会社	38,095百万円	38,095百万円
従業員(住宅財形借入ほか)	19,329百万円	16,639百万円
ACWA Power Sazagan Solar 2 FE LLC	一 百万円	4,937百万円
ACWA Power Sazagan Solar 1 FE LLC	一 百万円	3,346百万円
Diamond Transmission Partners Hornsea One Limited	2,352百万円	2,356百万円
MCリテールエナジー株式会社	2,172百万円	2,172百万円
送配電システムズ合同会社	2,181百万円	2,117百万円
株式会社エネワンでんき	2,040百万円	2,040百万円
Daigas大分みらいソーラー株式会社	814百万円	743百万円
Diamond Transmission Partners Walney Extension Limited	460百万円	502百万円
たはらソーラー合同会社	262百万円	262百万円
楽天信託株式会社	350百万円	210百万円
秋田洋上風力発電株式会社	157百万円	144百万円
その他	29百万円	28百万円

(2) その他契約の履行に対する保証債務

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年12月31日)
Ecowende C.V.	42,240百万円	38,546百万円
三菱商事株式会社	29,831百万円	25,821百万円
愛知蒲郡バイオマス発電合同会社	725百万円	759百万円
合同会社御前崎港バイオマスエナジー	672百万円	704百万円
M&C鳥取水力発電株式会社	374百万円	697百万円
ACWA Power Sazagan Solar 1 FE LLC	一千万円	676百万円
ACWA Power Sazagan Solar 2 FE LLC	一千万円	676百万円
豊富Wind Energy合同会社	680百万円	597百万円
丸紅株式会社	306百万円	295百万円
MCリテールエナジー株式会社	215百万円	196百万円
Diamond Transmission Partners Hornsea One Limited	183百万円	144百万円
秋田能代・三種・男鹿オフショアウインド合同会社	1,792百万円	一千万円
千葉銚子オフショアウインド合同会社	1,635百万円	一千万円
その他	168百万円	160百万円

(四半期連結損益計算書関係)

売上高又は営業費用に著しい季節的変動がある場合

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社グループの売上高に関しては、夏季と冬季の販売電力量が高い水準となる傾向にあるため、また、営業費用に関しては、発電所の修繕工事完了時期などの影響を受けるため、四半期ごとの業績に季節的変動がある。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

当社グループの売上高に関しては、夏季と冬季の販売電力量が高い水準となる傾向にあるため、また、営業費用に関しては、発電所の修繕工事完了時期などの影響を受けるため、四半期ごとの業績に季節的変動がある。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりである。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	127,551百万円	128,450百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額 (注4)
	マイズ	パワーグリッド	J E R A (注1)	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,104,852	289,209	—	2,394,062	257,574	2,651,636	—	2,651,636
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37,766	394,977	—	432,743	295,845	728,589	△728,589	—
計	2,142,619	684,187	—	2,826,806	553,419	3,380,225	△728,589	2,651,636
セグメント利益 (経常利益)	114,087	20,826	60,113	195,027	62,662	257,690	△35,406	222,283

(注) 1 「J E R A」の売上高は、(株)JERAが持分法適用関連会社のため、計上されない。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、事業創造部門、グローバル事業部門、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでいる。

3 セグメント利益の調整額△35,406百万円は、セグメント間取引消去である。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額 (注4)
	マイズ	パワーグリッド	J E R A (注1)	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,080,815	292,445	—	2,373,260	193,099	2,566,360	—	2,566,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34,537	382,747	—	417,285	301,688	718,973	△718,973	—
計	2,115,353	675,192	—	2,790,546	494,787	3,285,333	△718,973	2,566,360
セグメント利益 (経常利益)	111,308	30,366	98,731	240,406	113,902	354,308	△113,579	240,729

(注) 1 「J E R A」の売上高は、(株)JERAが持分法適用関連会社のため、計上されない。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、事業創造部門、グローバル事業部門、不動産事業部門、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでいる。

3 セグメント利益の調整額△113,579百万円は、セグメント間取引消去である。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2026年2月13日

中部電力株式会社
取締役会 御中

有限責任 あづさ監査法人

名古屋事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	蓮 見 貴 史
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	福 田 真 也
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	鈴 木 淳 一

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている中部電力株式会社の2025年4月1日から2026年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2025年10月1日から2025年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所及び株式会社名古屋証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項並びに我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社(第3四半期決算短信提出会社)が別途保管しております。
 2. XBRLデータは期中レビューの対象には含まれていません。